

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。	
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分 は掲載しません)	
留学先大学名	高麗大学校 (国名: 韓国)		
留学先学部名(またはプログラム名)	文科大学 韓国史学科		
留学期間	2016 年 3 月 ~ 2016 年 12 月		
学部/学院・年次	人文科学府	学部/学院	博士 4 年次 ~ 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 (期間: 2 年)		
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したため ④. その他(具体的に記入) 博士論文の提出のため		
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?			
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学(大学 学院/研究科) ③. その他(具体的に: 博士論文の提出と研究機関への就職)		
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)			
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?			
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?			
1. 留学先大学について			
授業(カリキュラム等)の概要について	大学院生として留学したので、大学院の授業を受講した。大学院の授業は週に一回、3~4 時間程度で行われる。毎週の課題の提出と輪番で回ってくる発表の準備をする必要がある。授業時間は、発表に対する議論や、自身が作成した課題に基づきつつ自身の考えなどを述べることになる。大学院の授業は参加者数の差が大きく、私が受講した授業は 20 人以上が受講していた。提出された課題は、先生はもちろん、すべての受講生が閲覧可能であり、多くの受講生の多様な考えを知ることができる。発表は、従来の研究成果を整理しつつその問題点を指摘し、それを克服する糸口を示すことが求められる。また、発表や授業中の議論に対しては、先生自身の考えや現在の研究状況を聞くことができる。韓国史学科の授業は、英語講義の一つを除き、すべて韓国語で進行される。大学院生としての留学であれば、韓国語論文の読解能力と文章作成能力は前提として必要になるが、最も困難であるのは、議論や先生の説明を聞き取ることである。韓国史の授業であるので、現代韓国語はもちろん、史料用		

	<p>語や外来の学術用語なども頻繁に登場する。講義形式ではないため口頭で述べるだけで記述による説明がない場合も多い。この部分については、多くの論文を読み韓国史に必要な知識を身に着けることと、それを耳で聞く機会を増やして徐々に慣れていくことが必要であると思われる。ただ、大学院の授業は試験がなく、提出物によって評価される部分が多いため、毎週の課題と輪番で回ってくる発表、学期末のレポートに注力することによって、単位を得ることは可能であろうと思われる。</p> <p>また、留学生向けの韓国語の授業があり、大学院生向けには1級(初級)と3級(中級)が開講され、月曜日から木曜日まで、一日1時間15分で行われる。</p>
<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>高麗大学校には KUBA という留学生を支援するための学生組織があり、留学に慣れない間は、KUBA の行事に参加してみるのも有用であると考えられる。私は大学院生として留学したこともあり、韓国史学科の事務の方や同じ授業を受講する大学院生の助けを借りることが多かった。ただ、韓国史学科に留学する場合に注意すべきこととしては、九州大学文学部のように学生が勉強するための研究室が、韓国史学科には準備されていないということである。ただ、図書館内の閲覧室やその他の自習室などが整備されており、勉強するスペースを確保することはそれほど困難ではない。</p> <p>住居については大学の寄宿舍を利用した。高麗大学校には、留学生が利用できる寄宿舍がいくつかあり、その中から選択して申請することになる。私は、月2万円程度の寄宿舍を利用したが、生活する上で不便なことはなかった。寄宿舍の利用期間は学期中と長期休暇に分かれており、そのつど申請する必要がある。申請には結核の検査証明書と費用納入の証明書をアップロードする必要がある。また、利用に関して不明な点などを相談するための窓口や、寄宿舍の建物内にも管理運営を補助する学生がおり、疑問点を気軽に質問することができる。</p> <p>語学面について、基本的に留学担当の事務員や寄宿舍の管理を担当する事務員などは英語も堪能な方が多く、それ以外の場所でも英語で通用するところがそれなりに多いように思える。また、語学堂(高麗大学校の場合、国際語学院)には日本語で受け付ける窓口もあった。ただ、基本的には韓国語で質問できる程度の語学力を習得して留学するのが望ましいだろう。こちらが話す韓国語が不十分であっても、こちらの語学力の水準に合わせて親切にわかりやすく説明してくれるため、過度に心配する必要はないと考えられる。</p>

<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>高麗大学校は韓国における最高峰の私立大学であり、授業の内容や学生の能力なども大変高度であると感じた。また、外国人留学生も多く、前述した KUBA の行事に参加することで多様な国々の留学生と交流することができ、単に韓国で韓国留学生と交流するのみならず、より幅広い国際的な経験をすることができる大学でもあると思われる。</p> <p>また、韓国史研究においても、ソウル大学と対をなす程の高いレベルにあり、韓国における韓国史研究の最先端を知ることができる大学の一つであると考えられる。また、高麗大学校の韓国史学科の大学院生は、修了生も含めると 200 人前後にもなるとされ、同じ授業を受講した学生を中心に、多くの学生と交流する機会を得ることができる大学でもある。</p> <p>大学の施設については、教室、図書館、自習室、食堂など、すべての施設が高い水準で整備されており、利用に際して不便に思ったことはほとんどなかった。また、文科大学向けの図書館には「大学院図書館」があり、書庫には史料が充実しているのみならず、ノートパソコンを使用できる閲覧室も準備されている。自習室(韓国では閲覧室と言う)は、PCを使用できる部屋とできない部屋、また 24 時間利用できる部屋などもあり、用途に応じて多様な自習室があり、便利である。</p>
<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>高麗大学校は韓国有数の私立大学であり、高い教育水準のもとで優秀な学生が勉学に励んでおり、韓国でも最高峰の学生生活を送ることができる大学として留学先の候補として推薦できると思います。また、多様な国籍の留学生と交流する機会があり韓国語のみならず、英語能力の向上も期待できる大学でもあると考えられます。</p> <p>大学の立地に関しても、大学周辺には食堂街があり、食事において飽きることなく過ごすことができ、またソウル都心にも近いので、楽しい留学生活を送ることができるのではないかと思います。</p> <p>ただ、高麗大学校の場合、他の大学の様に無料で語学堂に通うことはできず、大学の教養科目の韓国語の授業を受講することになりますが、韓国語の習得においては若干の困難があると感じました。特に大学院生の場合は、初級と中級がそれぞれ一つずつしか開講されず、高いレベルの韓国語については自身で勉強する必要があります。韓国語の能力向上を第一に考える方は、他の大学と比較して熟考した上で、留学先を選択することをお勧めします。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	

ビザの種類	D-2
ビザ申請先	駐福岡大韓民国総領事館
必要書類、手続き方法	<p>必要書類及び手続きについては、駐福岡大韓民国総領事館のHP参照。</p> <p>・提出書類</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 査証発給申請書(別紙第 17 号書式), パスポート, 標準規格写真 1 枚, 手数料 ② 教育機関の事業者登録証の写し又は固有番号証のコピー ③ 標準入学許可書(大学総・学長発行) ④ 家族関係立証書類(両親の残高証明書を提出する場合に限る) ⑤ 滞在費立証書類(登録金は本国で納付するのを勘案) ⑥ 所属(本国)大学の長が発給した推薦書 ⑦ 交換留学生である事を立証する書類(招待大学の公文、大学間で締結した学生交流協定書等) ⑧ 1 学期以上を修学した事を立証する書類(本国大学の在学証明書等) <p>不明な点等は電話などで質問を受け付けているので、電話してみるとよい。</p>
手続きに要した時間	一週間程度
その他必要な事前手続き	海外留学保険への加入など、留学生課の方の指示に従えばよい。
3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>大学院生の学期中の基本的な生活は、授業の準備と自主的な勉強会(スタディやセミナーなどと呼ぶ)の準備に明け暮れることになる。大学院の授業は週に一回であるため、多くの授業を受講できるようにも思えるが、授業の参加に際して課題の提出が必須であるため、自身の課題処理能力を勘案しながら受講数を考慮する必要がある。ちなみに、韓国人大学院生が受講する授業は、一学期に 2~3 である。また授業以外にも週に一度行う学生の自主的な勉強会にも参加することにもなるので、授業の課題と合わせると、一週間で読むことになる論文は、10~20 程度になる。さらに、大学院生として留学すると、授業以外にも自身の研究を発表する必要があるため、これらの課題を準備する合間に自身の研究発表の準備をすることになる。</p> <p>振り返ってみると、勉強ばかりしていたようにも思えるが、大学の周辺には散策に適した飲食街や市場などもあり、気晴らしに二三時間程度歩き回って、ソウルの街並みの見学を楽しんだりもした。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 70000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 20000 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 40000 円、電話代: 3000 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 7000 円</p> <p>その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円</p> <p>(徴収された費用の名目を具体的に:)</p>

日本から持参した方がよいもの（PCや変圧器等の要不要も）	ノートパソコンと変圧器は必須であるが、後者については韓国でも購入できる。薬なども、日ごろ使用しているものを持参していった方がいいだろう。また眼鏡やコンタクトを使用している方は、予備を持って行った方がいいかもしれない。
これから留学する人への、日常生活（治安対策を含め）に関するアドバイス	<p>基本的には日本と同じ感覚で生活することができます。私は性別が男だったこともあり、一人で活動しても特に危険な目にあつたことはありません。基本的にはあらゆる場面で韓国語を用いて意思疎通することになるので、自身が聞きたいこと聞き、伝えたいことを伝えることができる程度の韓国語能力は必要ですが、流暢な韓国語で話す必要はなく、自身の精一杯を示せば、それに応じてわかりやすい韓国語で話してくれる場面がほとんどでした。どうしても会話が困難であるときは、外国人であることを明かすことも一つの方法です。また、韓国人には世話好きな方が多く親切な方も多い印象ですので、韓国語で話し、韓国の文化に触れることに積極的な姿勢を示すことで、相手の友好的な態度を引き出すことになると思います。</p> <p>また、私は日本人ですが、日本人であることで不当な差別を受けたことはありません。一年という短い期間であり、また大学での生活が中心であったこともありますが、大学の外においても、私のことを日本人と知って対応が悪くなったことはありませんでした。むしろ、あまりにもサービスが良くなる場合が多かったので、日本人であることを明かさない方が、普段の韓国を知ることができると思います。ただ、日本と韓国には敏感な問題があることも事実であり、それをことさらに指摘しない相手の姿勢に敬意を払いつつ、一人の人間として好意的に接することで、問題の回避につながるのではないかと思います。</p>
お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	福岡銀行でアレコレカード作って持って行った。韓国はクレジットカードで決済できる場面が多く、カードの利用に慣れておくと、韓国での生活においても有利であると思われる。
4. 住居、生活環境	
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()
住所／電話番号	Anam Dormitory of Korea University, Anam-Dong Seongbuk-Gu Seoul, 02841 Korea Anam 2 Hall +82-2) 3290-1554 (Student Residence Manager)
費用(月額)	20000 円ほど
どのようにして見つけたか	高麗大学校からの案内

<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>高麗大学校には、いくつかの寄宿舍があり、月当たりの費用が異なる。私が利用した Anam2Hall は、その中でも最も費用が安く、最も古い建物である。部屋は 3 人部屋で、トイレとシャワーは共用であり、洗濯室やキッチンもある。唯一の男子寮である。外国人留学生も多いが、韓国人学生も利用している。利用において不便な点は特になかった。共同生活に特段の抵抗の無い方には、推薦できる宿舎である。</p>
<p>留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>高麗大学校の位置する安岩洞はソウル都心からも近く、大学周辺には飲食街が広がっており、勉学以外にも楽しい留学生を送ることができる地域だと思います。</p>

5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
<p>特になし。</p>		<p>基本的に現代の韓国生活に必要なことは、グーグルやヤフーなどを利用して日本語で検索しても調べることができるようになっているため、まずは日本語で情報を探してみればよいと思われる。</p>

6. その他の特記事項

--

特になし。